

令和5年度人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 審査結果

人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会における審査の結果、貴学から申請のあった下記プログラムが採択されました。

申請大学（代表校）名	龍谷大学
プログラム名称	大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム
連携校名	琉球大学、京都文教大学

（採択後公表）

〔採択理由〕

本プログラムは、ソーシャル・イノベーションに貢献し得る人材を養成し、養成された人材に対して「ソーシャル・イノベーション人材」資格を認証するというプログラムであり、人社系の大学院に研究者養成にとどまらない役割が期待されている状況において、ソーシャル・イノベーション人材の活躍の場が具体的に想定されている点、また、資格認証制度を通じ、人社系大学院修了者のキャリアパスの一つとして、ソーシャル・イノベーション人材の社会的な認知度の向上を目指している点は高く評価できる。

代表校の龍谷大学、連携校の琉球大学、京都文教大学には、他の大学と共に地域公共政策士資格教育プログラムを実施し、資格認証機関として地域公共人材開発機構を立ち上げて、地域公共政策士資格の普及に取り組んできた実績があり、本プログラムの実効性、継続性は十分に担保されていると言える。

本プログラムでネットワークを構築する3大学は、地域公共政策士の養成において既に連携の実績があることに加え、龍谷大学は、ソーシャル企業認証制度の運用を通じたソーシャル・ビジネスの展開に、琉球大学は、沖縄産学官共同人材育成円卓会議のネットワークを活用した人材の育成に、また、京都文教大学は、学内に設置された産業メンタルヘルス研究所を拠点とした産業心理臨床家の養成にそれぞれ強みを有しており、これら各大学の強みを持ち寄ることで、学生が自身の学びたいことを学べ、修了後はソーシャル・イノベーション人材として、より幅広い領域で活躍することが可能なプログラムになっていることも評価できる。

また、現状で各大学は、認証企業の関係者や地域公共政策士の科目等履修生を大学院に取り込めていない、あるいは産業界に心理職を送り込めていないといった課題を抱えているが、その課題を克服する手段として、ネットワーク型の大学院連携体制の構築という本事業の趣旨を有効に活用していることも評価に値すると言える。